

## 編者・執筆者紹介

---

(① 現職, 学位, 専攻, ② 主要業績)

### 【編者】

うしろ 後 ふうお 房雄 序章[共], 第1章[共], 第2章[共], 第3章[共], 第4章[共], 第5章[共], 終章

---

- ① 名古屋大学大学院法学研究科教授, 政治学/行政学/サードセクター論
- ② 「イタリアの包括的サードセクター改革とその背景——日本との比較のなかで」(RIETI Discussion Paper Series 17-J-018, 2017年)  
『稼ぐNPO——利益をあげて社会的使命へ突き進む』(共著, カナリアコミュニケーションズ, 2016年)  
『NPOは公共サービスを担えるか——次の10年への課題と戦略』(法律文化社, 2009年)

さかもと 坂本 はる や 治也 序章[共], 第1章[共], 第3章[共], 第4章[共], 第8章

---

- ① 関西大学法学部教授, 博士(法学), 政治過程論/市民社会論
- ② 『市民社会論——理論と実証の最前線』(編著, 法律文化社, 2017年)  
『現代日本のNPO政治——市民社会の新局面』(共編著, 木鐸社, 2012年)  
『ソーシャル・キャピタルと活動する市民——新時代日本の市民政治』(有斐閣, 2010年)

### 【執筆者】

やまもと 山本 ひでひろ 英弘 第2章[共], 第5章[共], 第12章

---

- ① 筑波大学人文社会系准教授, 博士(文学), 政治社会学/市民社会論
- ② 「サミット・プロテスタの受容可能性——質問紙調査から見る傍観者の態度」(『サミット・プロテスタ——グローバル化時代の社会運動』新泉社, 2016年所収)  
“Civil Society in Japan” (Co-authored, in: *The Sage Handbook of Modern Japanese Studies*, Sage, 2014)  
*Neighborhood Associations and Local Governance in Japan* (Co-authored, Routledge, 2014)

こたぎり 小田切 やすひこ 康彦 第5章[共], 第10章

---

- ① 徳島大学総合科学部准教授, 博士(政策科学), 公共政策学/行政学/非営利組織論
- ② 「協働——官民関係は何を生み出すのか」(『市民社会論——理論と実証の最前線』法律文化社, 2017年所収)  
『行政-市民間協働の効用——実証的接近』(法律文化社, 2014年)  
『NPOと官民協働』(『東日本大震災とNPO・ボランティア——市民の力はいかにして立ち現れたか』ミネルヴァ書房, 2013年所収)

- ① 関西学院大学法学部教授，西洋政治思想史／政治哲学／NPO・NGO 論
- ② 『市民社会セクターの可能性——110年ぶりの大改革の成果と課題』（編著，関西学院大学出版会，2015年）  
「法制度——市民社会に対する規定力とその変容」「宗教——市民社会における存在感と宗教法人制度」（『市民社会論——理論と実証の最前線』法律文化社，2017年所収）  
『新しい政治主体像を求めて——市民社会・ナショナリズム・グローバリズム』（編著，法政大学出版局，2014年）

- ① 大阪商業大学大学院地域政策学研究所教授，博士（国際公共政策），公共経営学／NPO 政策論／地方自治論
- ② 『地域ブランド政策論——地域冠政策方式による都市の魅力創造』（日本評論社，2017年）  
『公共マネジメントとNPO 政策』（ぎょうせい，2012年）  
『NPO 政策の理論と展開』（大阪大学出版会，2001年）

- ① 東京大学大学院教育学研究科准教授，博士（教育学），社会学／市民社会論
- ② 『「ボランティア」の誕生と終焉——〈贈与のパラドックス〉の知識社会学』（名古屋大学出版会，2011年）  
『労働再審〈5〉ケア・協働・アンペイドワーク——揺らぐ労働の輪郭』（共編著，大月書店，2011年）  
『政治変容——新自由主義と市民社会』（『市民社会論——理論と実証の最前線』法律文化社，2017年所収）

- ① 法政大学連帯社会インスティテュート教授，協同組合論／社会的経済論
- ② 『ソーシャル・ガバナンスと日本のサードセクターの課題』（『組合 その力を地域社会の資源へ』イマジン出版，2013年所収）  
『協同組合憲章（草案）がめざすもの』（共編著，家の光協会，2012年）  
『日本の社会的経済の統計的把握をめざして』（『社会的経済が拓く未来』ミネルヴァ書房，2011年所収）

- ① 関西学院大学法学部准教授，博士（政策科学），政治行動論／政治意識論
- ② 『維新支持の分析——ポピュリズムか，有権者の合理性か』（有斐閣，2018年）  
「政治文化と価値観——政治と市民社会をつなぐもの」（『市民社会論——理論と実証の最前線』法律文化社，2017年所収）  
『日本における政治への信頼と不信』（木鐸社，2013年）